## (第17回)

# トラック運送業界の景況感

## (令和3年1月~3月期)

今期の調査でも新型コロナウイルスの感染拡大はトラック運送業界に大きな影響を与え、流行し始め1年が経った今でも、猛威を振るっており、特に第3波による緊急事態宣言の影響がトラック運送業界の景況感に表れる形となった。

実働率と実車率はともに、前期比は「横ばい」が減少しており、「やや低下」が増加している。さらに、前年同期比を見てみると「変わらない」や「やや低下」との回答が全体の8割以上となっており、新型コロナウイルスが感染拡大してから1年が経つが、荷動きは活発になっていないことがわかる。

営業収入と営業利益をみてみると、いずれも「変わらない」という回答が一番多い。新型コロナウイルスの影響で下降傾向となっていた収入・利益面が変わらず減少した状態のままであることがわかる。また、「流通量はそれなりにある。しかしながら、運賃は変わらないまま小ロット化が進むので、労務費が上昇し、結果的に経営が悪化している。」との声や、「メインとなる荷物の輸送量が減少、その代わりの売り上げにつなげるべく雑貨取扱い荷まで補填するものの、1件当たりの数量が少なく配達件数ばかりが増加傾向となっている。売上は維持できているが利益は減っている。」との声があり、輸送量はある程度あるものの、利益率が上がらないという声が多数を占めた。しかしながら、前年同期比に関して、「大幅に増加」や「やや増加」との回答も微増しており、「コロナ禍のため鉄鋼関係の輸送量が減少し売り上げにも影響があるが、徐々に回復する兆しが見えてきている。」との声もあり、鉄鋼関係の運送事業者や、普段から使用する日用品等を運んでいる運送事業者等、業種によっては回復傾向にある。

運賃・料金の水準は前期と同じで、全体的に「横ばい」との回答が多く、運送事業者からの 標準的な運賃の届出が増えていない状況にあると考えられる。

輸送数量については、前年同期比と比べると「やや減少」が増えている。「コロナの先行きが見えず取引先の在宅ワークや人員削減により輸送量が減少している。」という声もあり、取引先の影響が運送事業者にも波及していることが伺える。

最後にトラック運送業界の景況感については、「やや悪化」という回答が多く、「コロナウイルスの影響が長期化し荷動きが悪い状況である。」という声があるように、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化しており、業界の景況感も好転していないことがわかる。国内でも医療関係者を中心にワクチン接種が始まるなど収束に向けて動き出してはいるものの、ワクチン接種が全体に行き渡るまでは時間がかかるとのことなので、この先、収束するまで先行きが不透明である等、懸念する声が多数を占めた。

令和3年4月21日

一般社団法人大阪府トラック協会

#### ○実働率・実車率

#### ○ドライバーの過不足等

### ○経常損益

#### ○今期の水準

### ○業界の景況感

## トラック運送事業者における景況感調査(大ト協 第17回)

## 令和3年1月~3月期調査票

## 1. ドライバー数 (人)

1~10人	8	社	13.3%	51~100人	6	社	10.0%
11~20人	23	社	38.3%	101~300人	2	社	3.3%
21~30人	12	社	20.0%	301人~	0	社	0.0%
31~50人	9	社	15.0%	未回答	0	社	0.0%

## 2. 女性ドライバー数

60 社中 15 社 平均人数 2.4 人

### 3. 1社あたりの保有台数

1~10両	6	社	10.0%	51~100両	7	社	11.7%
11~20両	20	社	33.3%	101~300両	3	社	5.0%
21~30両	15	社	25.0%	301両~	0	社	0.0%
31~50両	9	社	15.0%	未回答	0	社	0.0%

4. 取扱品目	1位			ኔ	3位	
1. 農水産品	0	社	0	計	0	社
2. 林産品(原木、製材、薪炭等)	3	社	0	社	0	社
3. 鉱産品① (砂利、砂、石材)	1	社	0	社	0	社
4. 鉱産品② (3. 以外の 鉱産品、石炭、原油等)	0	社	1	社	0	社
5. 金属 (鉄鋼、電線・ケーブル等)	4	社	5	社	2	社
6. 金属製品①(建設·建築用金属製品)	3	社	3	社	2	社
7. 金属製品② (6. 以外の金属製品、刃物、工具等)	3	汁	0	汁	0	汁
8. 電気機械	4	社	3	社	2	社
9. 輸送機械(自動車、自動車部品等)	1	社	2	社	0	社
10. その他機械(産業機械等)	2	汁	5	汁	0	社
11. 窯業品(セメント、ガラス等)	3	社	2	汁	0	社
12. 石油製品(揮発油、重油等)	3	社	0	社	0	社
13. 石炭製品(コークス等)	0	社	0	社	0	社
14. 化学薬品(硫酸、ソーダ等)	3	社	2	社	2	社
15. 化学肥料	1	社	0	社	0	社
16. その他化学工業品 (顔料、合成樹脂等)	4	汁	4	汁	1	計
17. 紙・パルプ	4	社	6	社	2	社
18. 繊維工業品	0	社	0	社	0	社
19. 食料工業品	4	社	2	汁	4	社
20. 日用品	8	社	5	社	5	社
21. その他製造工業品 (ゴム皮革製品、木製品等)	0	社	1	社	0	社
22. 特殊品(廃棄物、引越荷物等)	1	社	1	社	0	社
23. その他	7	社	4	社	6	社
24.未回答	1	社	14	社	34	社

## トラック運送事業者における景況感調査結果(令和3年1月~3月期)

※100社中 60社回答

	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
実働率	1.大幅に上昇		2. やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	6	10.0%	18	30.0%	28	46.7%	8	13.3%	0	0.0%
前期比	1	1.7%	5	8.3%	21	35.0%	29	48.3%	4	6.7%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	3	5.0%	26	43.3%	27	45.0%	4	6.7%	0	0.0%
宇車率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	11.7%	17	28.3%	28	46.7%	8	13.3%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	7	11.7%	22	36.7%	28	46.7%	3	5.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%		3.3%	31	51.7%	24	40.0%	3	5.0%	0	0.0%
15.11.2						0. 076						
ドライバーの過不足	1.不	足	2.やや	不足	3.適当		4.やや	過剰	5.過	剰	6.未回答	
今期の状況	2	3.3%	17	28.3%	38	63.3%	3	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	4	6.7%	18	30.0%	34	56.7%	4	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバーの採用状況	1.大幅(	増加	2.やや	増加	3.変わ	らない	4.やや	減少	5.大幅/	に減少	6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	4	6.7%	47	78.3%	6	10.0%	3	5.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	4	6.7%	47	78.3%	9	15.0%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	8.3%	44	73.3%	9	15.0%	2	3.3%	0	0.0%
ドライバー以外の過不足 1.不足 2.やや不足 3.適当								過剰	5.過	垂	6.未回	]
今期の状況	2	3.3%	10	16.7%	45	75.0%	1	1.7%	2 3.3%		0.5/2	0.0%
先行き	2	3.3%	8	13.3%	45	75.0%	4	6.7%	1	1.7%	0	0.0%
ドライバー以外の採用状況	1.大幅(		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	3	5.0%	51	85.0%		6.7%	2	3.3%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	3	5.0%	53	88.3%	4	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	3	5.0%	52	86.7%	5	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
所定外労働時間 (休日労働を含む)	1.大幅(	に増加	2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	11.7%	25	41.7%	20	33.3%	8	13.3%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	6	10.0%	26	43.3%	26	43.3%	2	3.3%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	8.3%	28	46.7%	24	40.0%	3	5.0%	0	0.0%
								<b>-</b>		-b 1		
貨物の再委託の割合	1.大幅(		2.やや		3.変わ		4. 4. 4		5.大幅/		6.未回	
前年同期比	0	0.0%	6	10.0%	31	51.7%	18	30.0%	4	6.7%	1	1.7%
前期比	0	0.0%	5	8.3%	32	53.3%	18	30.0%	4	6.7%	1	1.7%
先行き	0	0.0%	5	8.3%	29	48.3%	22	36.7%	3	5.0%	1	1.7%
経常損益	1.大幅(	に好転	2.やや	好転	3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	13	21.7%	14	23.3%	26	43.3%	7	11.7%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	10	16.7%	14	23.3%	31	51.7%	5	8.3%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	8.3%	17	28.3%	33	55.0%	5	8.3%	0	0.0%

# C 0 C C			2.やや好転		0 <del>**</del> // <sub>2</sub> / 2		4 4 4 西 ル		5.大幅に悪化		6.未回答	
業界の景況感		1.大幅に好転				3.変化なし		4.やや悪化				
前年同期比	0	0.0%	2	3.3%	16	26.7%	32	53.3%	10	16.7%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	1	1.7%	20	33.3%	33	55.0%	6	10.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	6	10.0%	17	28.3%	32	53.3%	5	8.3%	0	0.0%
	1.良	L	2.5	つう	3.悪	Ę۱۱	4.未	回答				
今期の水準	3	5.0%	24	40.0%	33	55.0%	0	0.0%				
		l							l			
一般貨物												
輸送数量全体	1.大幅/	に増加	2.やや増加		3.変わらない		4.やや	p減少	5.大幅(		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	13.3%	17	28.3%	28	46.7%	7	11.7%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	6	10.0%	17	28.3%	34	56.7%	3	5.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	3	5.0%	23	38.3%	30	50.0%	4	6.7%	0	0.0%
取扱い1位品目	1.大幅(	に増加	2.やや増加		3.変わらない		4.や弋	減少	5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.7%	8	13.3%	20	33.3%	22	36.7%	9	15.0%	0	0.0%
—————————————————————————————————————	1	1.7%	7	11.7%	20	33.3%	26	43.3%	6	10.0%	0	0.0%
 先行き	0	0.0%	6	10.0%	22	36.7%	28	46.7%	4	6.7%	0	0.0%
取扱い2位品目	1.大幅/	に増加	2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.7%	8	13.3%	19	31.7%	17	28.3%	1	1.7%	14	23.3%
前期比	0	0.0%	5	8.3%	24	40.0%	17	28.3%	0	0.0%	14	23.3%
先行き	0	0.0%	4	6.7%	27	45.0%	13	21.7%	2	3.3%	14	23.3%
取扱い3位品目	1.大幅(	こ増加	2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未[	可答
前年同期比	0	0.0%	2	3.3%	12	20.0%	7	11.7%	5	8.3%	34	56.7%
前期比	0	0.0%	3	5.0%	12	20.0%	10	16.7%	1	1.7%	34	56.7%
 先行き	0	0.0%	4	6.7%	12	20.0%	9	15.0%	1	1.7%	34	56.7%
営業収入(売上高)	1.大幅/	に増加	2.やや	増加	3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.7%	7	11.7%	18	30.0%	25	41.7%	9	15.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	6	10.0%	24	40.0%	26	43.3%	4	6.7%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	3	5.0%	26	43.3%	26	43.3%	5	8.3%	0	0.0%
営業利益	1.大幅/	一世加	2.やや	地加	3変わ	intil 1	4 わせ	河河	5 大幅1	一減小	6 <del>\$</del> [	可效
前年同期比	1.八下田1 1	1.7%	11	18.3%	3.変わらない		4.やや減少 21 35.0%		5.大幅に減少		6.未回答 0 0.0%	
前期比	0	0.0%	8	13.3%	20	28.3%	26	43.3%	10 6	16.7%	0	0.0%
	0	0.0%	1	1.7%	24	40.0%	28	46.7%	7	11.7%	0	0.0%
7,116		0.0 70		1.7 70	24 40.0%		20 40.790		/ 11.7%		0 0.0%	
運賃・料金の水準	1.大幅(	こ上昇	2.やや	上昇	3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未[	回答
前年同期比	0	0.0%	6	10.0%	49	81.7%	3	5.0%	2	3.3%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	1	1.7%	56	93.3%	2	3.3%	1	1.7%	0	0.0%
	_		·			_						_

先行き

0

0.0%

6 10.0%

80.0%

48

4

6.7%

2

3.3%

0

0.0%

## 景況感に係る意見等(令和3年1月~3月)

- ・コロナ過が去るまで先行き不安
- ・先のことが不明
- ・コロナ禍のため鉄鋼関係の輸送量が減少し売り上げにも影響があるが、徐々に回復する兆しが見えてきています。
- ・新型コロナによる景況悪化
- ・流通量はそれなりにある。しかしながら、運賃は変わらないまま小ロット化が進むので、労務費が上昇し、結果的に経営悪化している。
- ・経済の回復が鈍化している
- ・コロナの先行きが見えず取引先の在宅ワークや人員削減により輸送量が減少
- ・コロナウイルスの影響が長期化し荷動きが悪い状況である。オリンピック開催に向けて荷動きも回復してくるとみている。
- ・在宅ワークが増え移転引越の減少に伴い、寝具の購入数が減少。その代わりの売り上げにつなげるべく雑貨取扱い荷まで補填するものの、 1件当たりの数量が少なく配達件数ばかりが増加傾向となっている。売上は維持できているが利益は減っている。